※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健（２年）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）701						
副教材等	現代高等保健体育ノート　改訂版（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「保健」は、生徒が健康・安全の問題を認識はするとともに、これを科学的に思考・判断し、自ら解決していくための資質や能力を育成していくことを狙いとしている。生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で中心的な役割を担っている。
必履修科目であり、卒業までに、必ず履修しなければならない。

２　学習の到達目標

a 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけさせる。
b 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身につけさせる。また、健康の考え方についての自他や社会の課題を見つけ、合理的・計画的な解決に向け、思考・判断できるようになるとともに、目的や状況に応じて他者にも伝えられるようになる。
c、交通安全、応急手当・心肺蘇生法、ライフステージ、思春期の健康、妊娠・出産・避妊・人工妊娠中絶、労働災害と職業生活など現代の健康問題とその対策について理解し、生涯を通じての自他の健康増進やそれを支える環境づくりを目指し、　明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組ませる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むため学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 ４月	安全な社会生活	安全な社会生活 1. 事故の現状と発生要因 2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全	a: 1a:・事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 2a:・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 3a：・交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・安全な社会づくりについて，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査

※令和４年度以降入学生用

	安全な社会生活		安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。 ・交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c： ・安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 a：	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査
前期4月		4. 応急手当の意義とその基本	4a：・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。			
前期5月		5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法	5a：・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 6a：・心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，			

※令和４年度以降入学生用

前期 ５月	安全な社会生活		人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，実習を通して理解したことを言ったり書いたりし，AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 b： ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c： ・応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査
	生涯を通じる健康	生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康 2.思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択	a： 1a.2a.3a：・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して，自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること，及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。			

※令和４年度以降入学生用

前期 ６月	生涯を通じる健康	4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康	4a.5a.6a:・結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには，自他の健康に対する責任感，良好な人間関係や家族や周りの人からの支援，及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査
前期 ８月		7. 中高年期と健康	7a:・中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には，加齢に伴い，心身の機能や形態が変化すること，その変化には個人差があること，疾病や事故のリスクが高まること，健康の回復が長期化する傾向にあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢社会では，認知症を含む疾病等への対処，事故の防止，生活の質の保持，介護などの必要性が高まることなどから，保健・医療・福祉の連携と総合的			

※令和４年度以降入学生用

	生 涯 を 通 じ る 健 康		な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について，習得した知識を基に，中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c: ・生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査
前 期 9 月		8.働くことと健康 9. 労働災害と健康	8a.9a:・労働による傷害や職業病などの労働災害は，作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。			

※令和４年度以降入学生用

	生涯を通じる健康	10. 健康的な職業生活	・労働災害を防止するには，作業形態や作業環境の改善，長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 10a:・働く人の健康の保持増進は，職場の健康管理や安全管理とともに，心身両面にわたる総合的，積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の日常生活においては，積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて，を理解したことを言ったり書いたりしている。 b: ・労働と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について，習得した知識を基に，生活の質の向上を図ることと関連付けて，課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について，習得した知識を基に，労働災害の防止に向けて，個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査

※令和４年度以降入学生用

	生涯を通じる健康		c： ・労働と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査	観察 保健ノート 板書又は ワークシート 考査
前期 ６ ～ ７ 月	スポーツの発祥と発展	調べ物学習テーマ 1.スポーツの始まりと変遷 2.日本生まれのスポーツ 3.文化としてのスポーツ 4.競技スポーツにおける競争の意味 5.スポーツと環境 6.オリンピックとパラリンピックの意義 11.オリンピックの課題 12.パラリンピックの課題 7.世界の民族スポーツ 8.スポーツが経済に及ぼす効果 9.スポーツの高潔さとドーピング 13.なぜドーピングは許されないのか 10.スポーツとまちづくり	４人を１班とし、10個のテーマを選び、各班で調べ、発表方法を工夫して、クラスで発表会を実施する。 a： ・自分たちの選んだテーマの各自が調べてきたレポートを持ち寄り、クラスでどういう発表にするかを効果的な発表方法も考えながら発表会の準備を行う。班員の適切な意思決定や行動選択により，スポーツについて考察し、理解したことを言い合ったり、書いたりしている。 b： ・自分たちの選んだテーマをレポート発表という形式に、整理したり，個人及び社会と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 c： ・自分たちの選んだテーマについて，課題の解決に向けた学習と発表に主体的に取り組もうとしている。	レポート 課題の 成果物等	レポート 課題の 成果物等 班での 取り組み 態度 発表	レポート 課題の 成果物等 班での 取り組み 態度 発表

※令和４年度以降入学生用

前期 ８月	健康を支える環境づくり	夏休みレポート課題 1. 保健行政 2. 医療保険制度 3. 薬害 4. 医薬品の製造･認可と安全性 5.健康日本21 6.ヘルスプロモーション 7.STGs（エスティージーズ） 8.国際機関･民間機関の保健活動 9.お薬手帳と母子健康手帳 10.健康食品とサプリメント	a: ・自分の選んだテーマに基づき，適切な意思決定や行動選択により，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であることについて，理解したことを書いたりしている。 b: ・自分の選んだテーマをレポートという形式に、整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 c: ・自分の選んだテーマについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	レポート課題の成果物等	レポート課題の成果物等	レポート課題の成果物等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度